

第4回 新潟大学

紡^{つむぎ}の会

地域の夢の 実現に向けて

——共創イノベーションプロジェクト——

新潟大学は2022年度から大学と自治体・産業界が組織的に連携して取り組む地域創生を進めています。その中核として、事業化の高度エキスパート人材を配置し、地域の「夢」の実現を目指す共創イノベーションプロジェクト(共創IP)を推進しています。これにより、研究者個人による地域貢献活動から、大学組織としての地域創生事業へと転換を図るとともに、それを担う人材へのリカレント教育や大学院教育との接続も強化し、地域の持続的発展に向けた好循環システム構築を進めています。

本事業は開始から4年目を迎え、各共創IPにおいて具体的な成果が現れつつあるほか、産学官・地域との協力体制のもと、内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業(R7-11)」に採択され、国を代表する本格的な地域創生事業を始動しました。

加えて、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(R7-11)」および「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業(R7-13)」にも採択され、地域創生の推進体制をより一層強化しています。これらの取組により、共創IPは社会人や学生を含む多様な関係者が参画するプロジェクトへと発展しています。

そこで、これまでの活動成果を紹介するとともに、地域の皆様との対話を深めることで、新潟大学を核とした地域創生のさらなる発展を目指します。

2026年5月13日(水) 15:00-17:45

ANAクラウンプラザホテル新潟3階「飛翔」
(新潟市中央区万代5-11-20)

主催 | 国立大学法人新潟大学

来賓 | 新潟県知事 花角 英世 氏(予定)

文部科学省大臣官房審議官(高等教育担当) 先崎 卓歩 氏

後援 | 新潟県、一般社団法人新潟県商工会議所連合会、
新潟経済同友会、新潟日報社



PROGRAM

第1部

15:00-15:05 開会挨拶 新潟大学 学長 染矢 俊幸

15:05-15:10 来賓挨拶 新潟県知事 花角 英世 氏(予定)

15:10-15:25 基調講演 国立大学を核とする地域構想推進プラットフォームについて(仮称)
文部科学省大臣官房審議官(高等教育担当) 先崎 卓歩 氏

15:25-15:35 地域の夢の実現に向けた大学の取組
新潟大学 理事・副学長 川端 和重

15:35-16:35 共創IP取組紹介(8共創IPによるショートプレゼンテーション)

- ・ コメ共創IP 社会連携推進機構地域協働部門 特任教授 藤巻 義博
- ・ おいしさDX共創IP 経営戦略本部UA室 上席UA/特命教授 勝見 一生
- ・ モノづくり共創IP 自然科学系情報電子工学系列 教授 飯島 淳彦
- ・ 防災街づくり共創IP 災害・復興科学研究所 教授 卜部 厚志
- ・ 地域医療DX共創IP 医歯学系医学系列 教授 上村 顕也
- ・ 佐渡共創IP 佐渡自然共生科学センター コミュニティデザイン室 教授 豊田 光世
- ・ 未来農村★かりわ★共創IP 社会連携推進機構地域人材育成部門 教授 高島 徹
- ・ 社会インフラ・マネジメント共創IP 自然科学系生産デザイン工学系列 教授 佐伯 竜彦

第2部

16:45-17:45 意見交換 各共創IP・共同教育講座ブースにおける対話の場



コメ共創IP

コメ生産日本一の新潟が培った知見やノウハウを活かして、温暖化などの気候変動に対応すべく、品種・農法の改良、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を推進する。



おいしさDX共創IP

日本酒をはじめとする新潟の人・技・気候風土が生み出す豊かな食の特徴とベアリングによるその広がりを科学的に解明し、食に関わる産業の高付加価値化、新規事業の創成等を目指す。



モノづくり共創IP

モノづくり分野が融合してクラスターを形成し、最先端の技術を地域社会と共有して、持続可能な未来型の地域創生プロジェクトを実現する。



防災街づくり共創IP

地球温暖化による災害の極端化や新潟地域に特徴的な災害(地震、津波、土砂災害、雪害など)に加え、人口減少や高齢化による急速な社会変容に対応した地域防災を共創する。



地域医療DX共創IP

産官学民共創による、新潟発健康未来社会の実現と持続的ビジネスモデル構築により、高齢化・人口減少、医師不足・偏在、医療アクセス不均衡などの地域医療課題の解決に取り組む。



佐渡共創IP

佐渡島をフィールドとして、自然共生社会の実現に向けて、多様なアクターがつながることで、課題解決を探究し続ける地域をつくる。



未来農村★かりわ★共創IP

本学が開発・実証した「地域イノベーション創出プロセス(DESIGN-i)」を活用し、刈羽村と大学発ベンチャーの3者共創で「かりわ村★農村ビジョン」を実現し、小規模市町村活性化モデル開発を目指す。



社会インフラ・マネジメント共創IP

橋梁など設備の老朽化や自然災害の頻発化・激甚化により、広大な新潟県で特に厳しさを増す社会インフラの整備・維持に向け、建設分野の技術開発、社会実装、人材育成に取り組む。



共同教育講座

地域社会や企業群が抱える共通の課題を解決するための人材育成を目的とした教育プログラムを、大学と企業等が協働で実施する「地域産業領域別・共同教育講座」についてご紹介します。

定員
150名
参加無料

URLまたは二次元バーコードの申込フォームからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/EPhMuhQ1Di>

申込期日／ **2026年4月28日(火)**

対象／地域創生に関心のある自治体、企業、ベンチャー企業等



お問い合わせ先

新潟大学 社会連携推進機構 Tel／025-262-6375 E-mail／kyoso@ccr.niigata-u.ac.jp